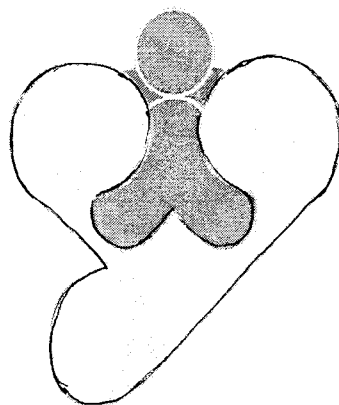


第2次 中・長期振興計画



入会してよかったと思えるシルバー
(元気で活動するよろこび)

平成 19 年 9 月

(社) 八幡市シルバー人材センター
第2次 中・長期振興計画策定委員会

はじめに

本センターは、昭和56年7月24日に設立されて以来、八幡市をはじめ事業所及び市民の支援・理解・協力と会員の皆さんのたゆみのない「親切・ていねい・まごころ」をこめた仕事の遂行と、センターへのあつい想いや積極的な努力により、会員及び、業績は年々拡大し、おおむね順調な発展をとげてまいりました。

一方、ますます進展する人口の少子・高齢化に加えて、近年における社会・経済環境の著しい変化のなかで、地域社会の活力を維持していくためには、いくつになっても生涯現役を心がけ、多様な活躍をとおして輝き、自立して共に支え合い、社会還元活動をするなどシルバー人材センターの役割はますます重要となっています。

こうした中で、いわゆる団塊の世代といわれる人々の定年到達による対策や、指定管理者制度導入などの行政改革が加速されるなど、シルバー人材センターの事業運営にも大きな変容を余儀なくされ、また、センターには就業機会の提供やボランティア活動などの社会参加、就業能力開発、起業等に関する相談支援など幅広い就業支援機能を備えた、地域における「働く」高齢者のワンストップサービスセンターを目指すことや、子育てや介護・環境の美化など市民生活を支援する事業を一層充実することが求められてきています。

このような状況に対応するため、市民をはじめ皆さんからの意向アンケート結果をふまえ、会員の増強、事業（仕事）の開発・創造と拡大、基本原則に則した自主的な事業・運営の展開など組織、事業及び運営の全般にわたる改善・改革の方策とともに、本シルバー人材センターのこれからのあり方、進むべき目標・展望等について、研究・具体的に検討し、第2次中・長期振興計画の策定をいたしました。

この冊子は「入会してよかったと思えるシルバー」（元気で活動するよろこび）をスローガンに作成した、八幡市シルバー人材センター全会員の英知を結集し「会員の手づくり」による、わたしたちセンターの活動目標であります。

さあ！

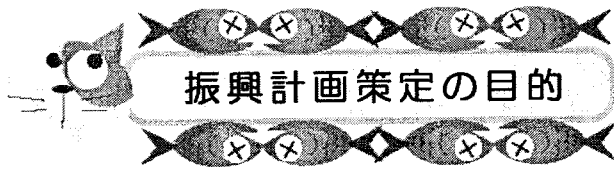
（社）八幡市シルバー人材センター会員のみなさん

いつまでも元気一杯で自信と誇りをもって

目標に向かって頑張ってまいりましょう！！

社団法人 八幡市シルバー人材センター

理事長 鈴木 秀雄



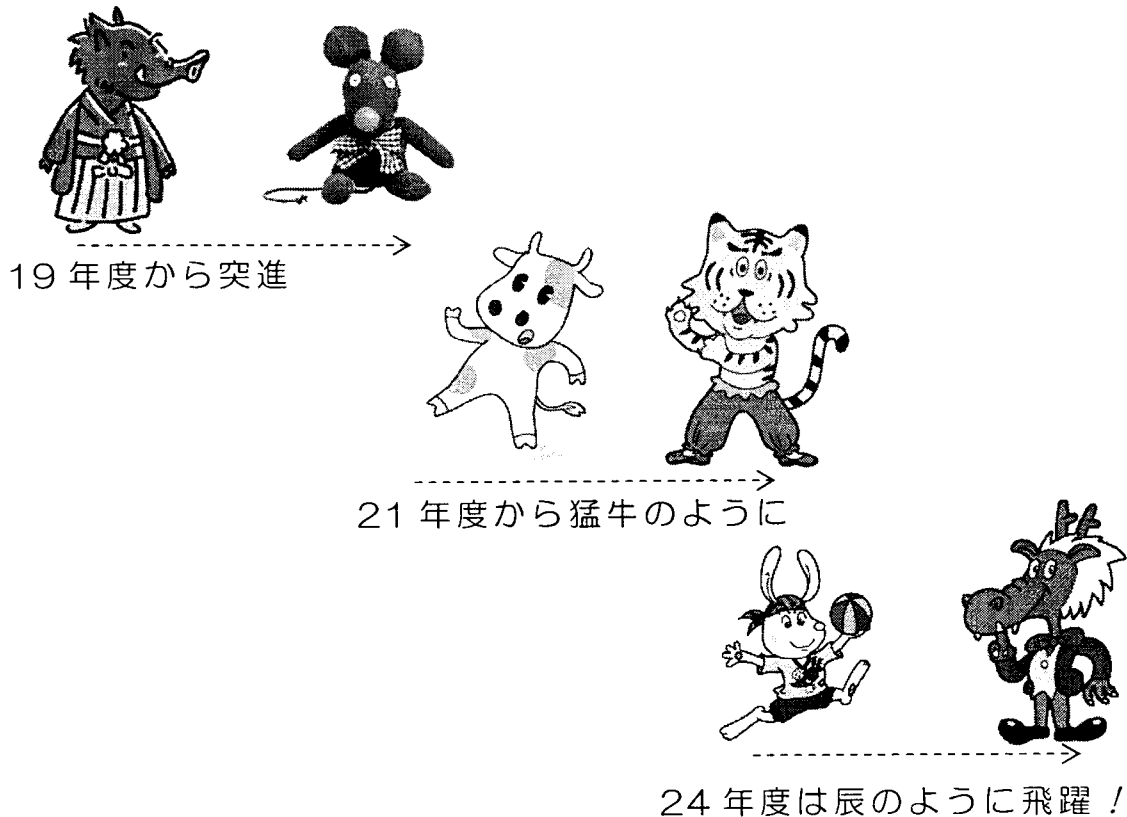
振興計画策定の目的

- ◇ 会員自らが目標をたて総力を挙げて実行すること。
- ◇ 社会情勢にあった中・長期にわたる計画をたてること。
- ◇ 地域社会の担い手として貢献する組織づくりをめざすこと。
- ◇ 念願と期待に応える活動をする事。
- ◇ 「働く」高齢者のワンストップサービスセンターとなること。
- ◇ 後期高齢会員の社会参加活動を推進すること。



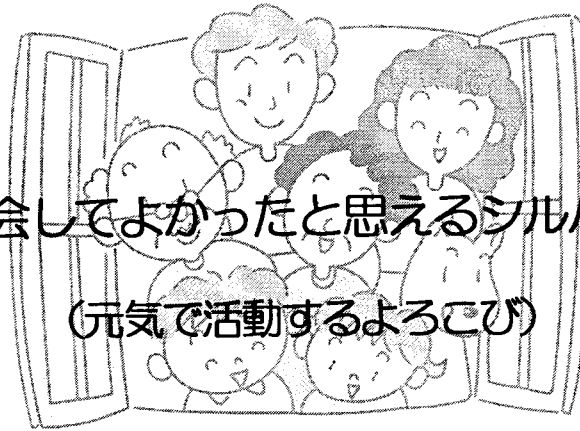
目標年次

- ◇ 本振興計画の目標年次は、平成 19 年度から平成 24 年度までの 6 年間とし、2 年毎に見直すものとする。

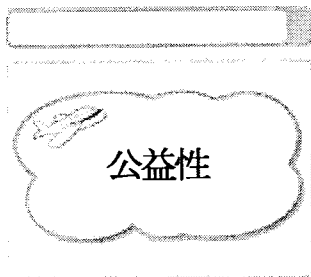


基本構想 (スローガン)

入会してよかったと思えるシルバー
(元気で活動するよろこび)

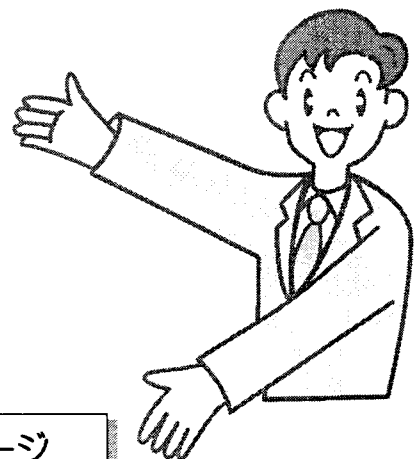


基本理念



基本目標

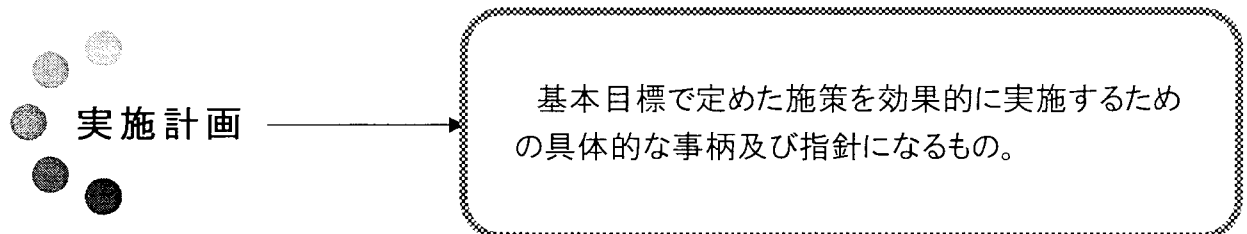
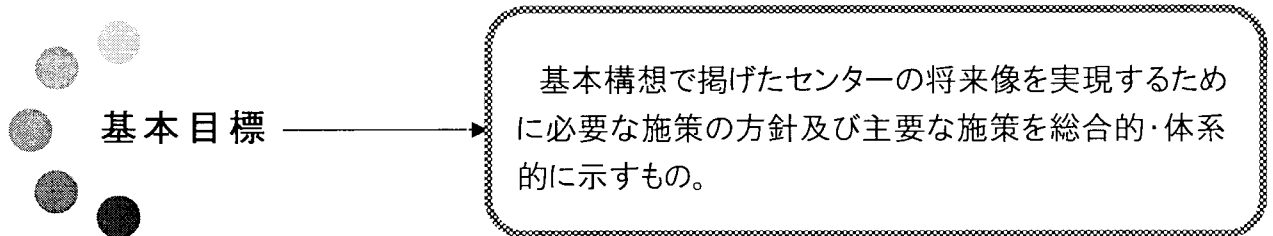
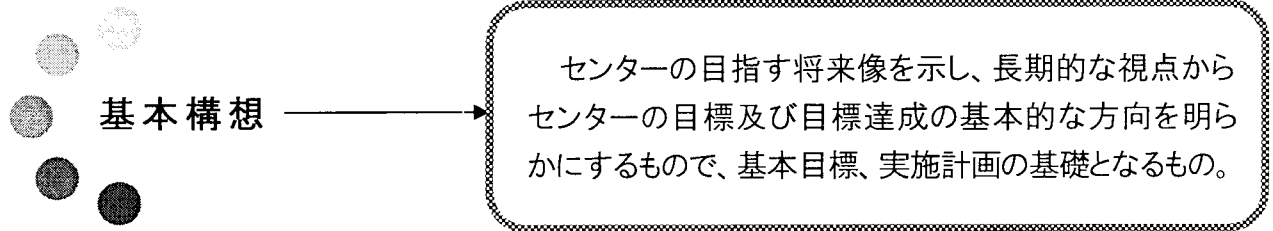
目標に向かって会員みんなで
努力しましょう



基本計画

具体的な実施計画は本誌 3ページ
から 10ページ に詳しく
記載してあります

(社)八幡市シルバー人材センター
第2次 中・長期振興計画の策定

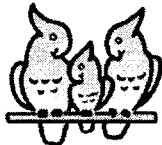


第2次 中・長期振興計画の内容

基本構想 (スローガン)	入会してよかったと思えるシルバー (元気で活動するよろこび)	1
基本理念	公益性 自主・自立、共働・共助	2
基本目標	1. 会員の増強	3
	2. 健全な財政の運営	
	(1) 自主財源の確保	4
	◎ 新規事業の開拓	
	◎ 健全な資金運用	
	◎ 事務費率アップ	
	◎ 特定公益法人制度の活用	
	(2) 安定した補助金の交付	5
	(3) 受注体制の強化	6
	◎ 既存事業拡大	
	◎ 公共からの受注強化	
	◎ 普及啓発活動の推進	
	◎ ワンストップサービスセンター	
	3. 安全・適正就業の推進	8
	4. 環境問題への取り組み・文化の伝承	9
	5. 会員の福利厚生	10
	◎ 会員のつどい・会員作品展	
	◎ 会員互助会	
	6. 計画の実現に向けた取り組みや体制の強化	11

基本構想（スローガン） 入会してよかったと思えるシルバー

健康は宝。元気で長生き、
生き甲斐を持って働くこと



- ☆ 生涯青春・生涯現役で地域社会の中で活躍し互いに信頼しあえる仲間が居ること。
- ☆ 自身の健康は自己管理する。

多くの仲間と助け合い、
働く喜びを分かち合い、
共に活力ある地域社会に
貢献するセンターを目指す

- ☆ 社会に還元（お礼）ボランティア活動の充実を図る。
- ☆ 仲間と目標を高く持ち会員の資質を高める。
- ☆ チームワークを大切に助け合って仕事を完遂する。

後期高齢会員（75歳以上）
の就業に対する新たな取り
組み

- ☆ 高齢化が進む中で、就業以外に「生きがい」「健康づくり」などライフワークの充実を求める高齢会員が増大する現在、生きがいを持ち社会参加が出来る新たな取り組みを推進する。



公益性

- ・センターは公益法人であり、営利を目的とせず地域社会の理解と協力を得ながら事業を展開する

- ☆ 地域に密着した事業の展開、八幡市の特徴を就業に活かし、地域の発展に役立ち市民に喜ばれるセンターにする。
- ☆ 地域社会、高齢者の支えになる事業の展開を考える。
- ☆ 地域社会が必要とするボランティア活動をとおして社会に貢献する。
- ☆ 元気で働く事は地域の活性化に繋がり、医療費の削減、センター事業の社会的地位の向上を図る。

自主・自立

- ・組織の運営は会員が自ら目標を立て、主体的に活動する

- ☆ 「親切・ていねい・まごころ」はシルバーのモットーで、シルバー会員が作り育てるものである。
- ☆ ローテーションを組む仕事は個々にルールを守り、自身の力量と限度を常に心がける。

共働・共助

- ・仕事はお互いに分かち合い助け合いながら完成させる



- ☆ それぞれの会員が持つ特性・得意分野を活用し、助け合いながら請け負った仕事は責任を持って遂行する。
- ☆ 完成度の高い仕事をするために、目標、手順、安全、技術の向上そして和が大切である。
- ☆ 会員は自信と誇りを持ち仕事を請け負う。

新規入会者の促進

人材の確保

- ☆ 会員の拡大を計るため関係各諸団体へ働きかける。
- ☆ 入会説明会を継続的に開催する。
- ☆ 入会案内のピウを配布する。
- ☆ 広報「やわた」でシルバーのPRをする。
- ☆ 50歳代後半の人たちに対する、入会説明会の開催を促進する。

退会者の抑制

- ☆ すべての会員の就業を図る。
- ☆ 就業以外の活動を推進する。

後期高齢会員 (75歳以上) の活動の促進

- ☆ ボランティア活動に積極的に参加する。
- ☆ 余暇を楽しむ。
- ☆ 体力、気力に相応しい仕事の継続を図る。

会員資質の向上

技能アップ

- ☆ 会員の意識改革を推進する。
- ☆ 研修会を実施する。
 - * モデルセンターへの研修。
 - * 時代に即した技術の修得。
 - * 地域班長研修。
 - * 専門的技術修得。
 - * 自己を磨く勉強会。

賛助会員

- ☆ センター事業の目的に賛同し事業に協力する。

(1) 自主財源の確保

新規事業開拓

アイデア募集します

- ☆ 全会員の知恵を結集して次の通り取組む。
 - * アンテナショップ「やすらぎ」の拡充。
 - * 地場農作物加工及び花木の販売。
 - * 一人暮らしのぬくもり対策。
 - * 傾聴業務の開拓。
 - * 生活様式の変化による需要。
 - * 生活便利班(シルバーライフサポート充実)の活動を推進。

健全な資金運用

- ☆ 早期資金回収を図る。
 - * 日報は、就業終了後速やかに提出。

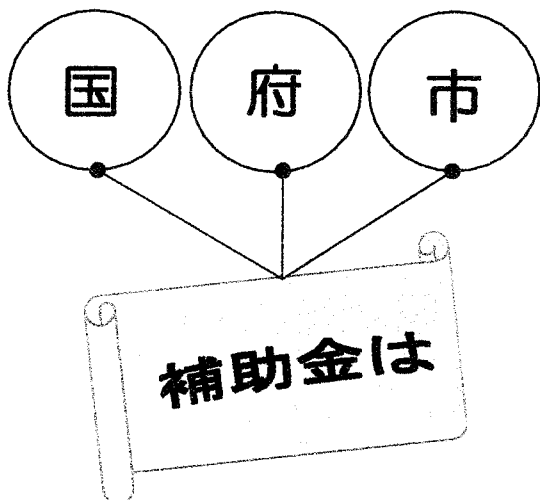
事務費率アップ

- ☆ 事業拡大を積極的に推進するとともに、事務費率のアップを図る。

特定公益法人制度(寄付金)の活用

- ☆ シルバー人材センター事業の主旨や目的に対し、理解を得て継続的な寄付金の確保を図る。

(2) 安定した補助金の交付



☆ 国・府・市 に対して、健全な事業運営が図れるよう、安定した補助金交付を要望する。

☆ 下記項目を意識して基準達成のための努力をする。

- ① 会員数 (人)
- ② 粗入会率 (%)
- ③ 就業率 (%)
- ④ 就業延人員 (人日)
- ⑤ 受注件数 (件)
- ⑥ 契約金額 (千円)

シルバー人材センター事業活性化計画

項目	区分	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
		2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
会員数 A (人)	男	408	440	475	506	486	501
	女	212	230	245	265	255	262
	計	620	670	720	771	741	763
粗入会率 (%)		3.0%	3.0%	3.0%	3.0%	3.1%	3.1%
就業実人員 B (人)		555	602	647	694	667	687
就業率 C=B÷A (%)		89.5%	89.8%	89.9%	90.0%	90.0%	90.0%
就業延べ人員 D (人日)		59,706	65,325	70,920	76,715	74,100	76,529
受注件数 E (件)		3,800	3,810	3,820	3,830	3,840	3,850
契約金額 F (千円)		243,600	267,833	296,446	329,686	318,452	328,894
一人当たり年間就業日数 G=D÷A (日)		96.30	97.50	98.50	99.50	100.00	100.30
一人当たり年間契約金額 H=F÷D (円)		4,080.00	4,100.00	4,180.00	4,297.55	4,297.60	4,297.65

(3) 受注体制の強化

既存事業拡大

地域のニーズに応える

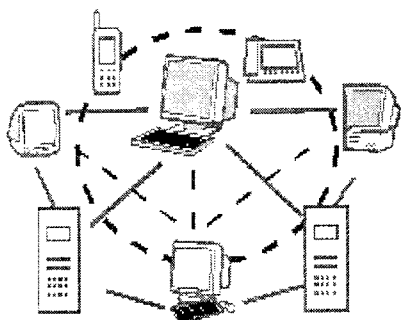


- ☆ 定期的に企業訪問をする。
- ☆ 企業、諸団体との連携を密にする。
- ☆ 地域社会のニーズ調査をする。
- ☆ 提供サービスの均一化を図る。
- ☆ 可及的速やかな受注体制を推進する。
- ☆ 発注者に不満を持たせない連絡体制を充実する。
- ☆ 少子高齢社会における福祉・家事援助サービス事業の拡大と展開を図る。
- ☆ 子育て支援をする。
- ☆ 食育の推進をする。
- ☆ 女性会員の就業機会の拡大を図る。
- ☆ 高齢者等の生活支援サービスをより一層充実し提供する。
- ☆ 事務系職種の拡大と拡充を図る。

公共からの受注強化

- ☆ 国・府・市 等関係行政機関に強く要望する。

普及啓発活動の推進

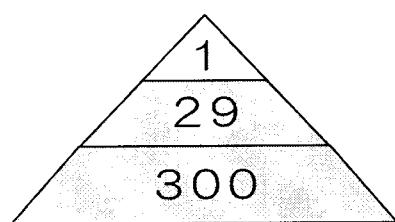


- ☆ 会員増加・団塊の世代の入会を視野にいれながら受け入れ体制の整備を進め、効果的な普及啓発活動を推進する。
- * 年間を通して普及啓発活動の実施。
- * 普及啓発促進月間には、駅前・大型店舗をはじめ、市民祭り等集中的に活動を展開。
- * 会報「きらり」の活用。
- * 会員加入促進・パンフレット・ポスターの配布。
- * ホームページを活用したPR。
- * 八幡市及び公共団体のイベント参加推進。
- * アンケートによる会員・発注者のニーズを把握。
- * 会員各自が就業開発活動を行う。
- * 会員は居住周辺の状況を把握。
- * 広報等でシルバーの職種・活動を掲載。
- * 集客力のある場所にポスター等の啓発資材の掲示。
- * マスメディアの活用。

ワンストップサービスセンターを目指す

- ☆ 働くことを希望する高齢者のための情報の収集・提供・就業相談・無料職業紹介・派遣業務、新規事業の立ち上げ等、高齢者の就業に関する全てに関わるワンストップサービスセンターの早期実現を図る。

安全・適正就業の対策

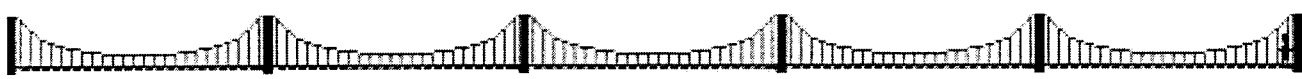
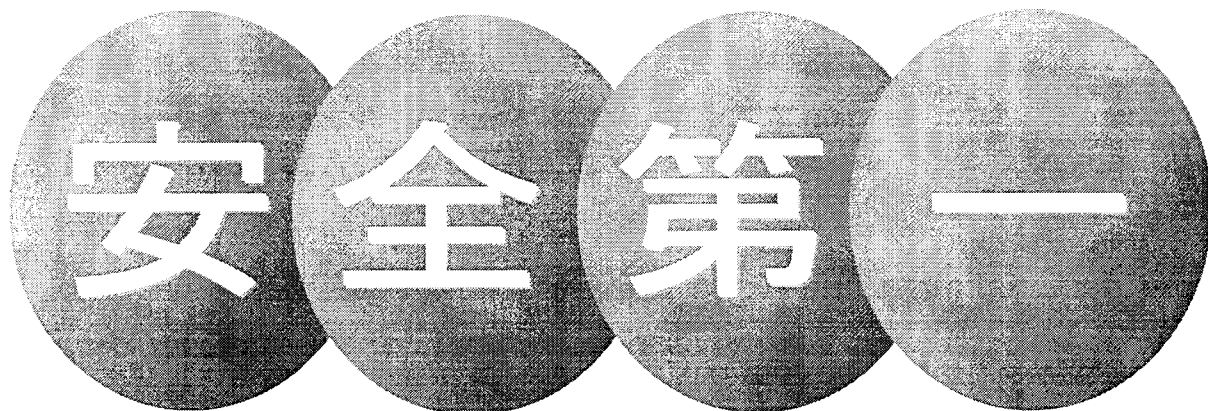


1件の事故は
29件の予兆があり
300件の潜在要因がある
(ハインリッヒの法則)

- ☆ 安全就業はシルバー事業の基本である
- ☆ 「安全就業10ヶ条の励行」をモットーに、事故ゼロを目指す。
 - * 安全に関する研修の実施。
 - * 安全・適正就業パトロールの実施。
 - * 常に健康の維持を図り、体力・精神力減退の現状を認識。
- ☆ 安全・適正就業に関する情報の収集・事故の要因を分析し対策を講じる。
 - * 活動の充実・強化・ワークシェアリングの実施。



ちょっとした油断がまねく大惨事



環境問題への取り組み

・個人の周囲の問題のみならず、地球環境として取り組む

- ☆ 京都議定書を守ろう。
 - * 空、水、緑の保護。
 - * 自然を守る意識の高揚。
- ☆ エコロジー（環境保護）を実践しよう。

6R

- リフューズ…余分な物は排除する。
- リユース……そのまま再利用する。
- リデュース…減らす・削減する。
- リサイクル…再生利用する。
- リペア………修理して使う。
- リファイン…ゴミを分別する。

文化の伝承

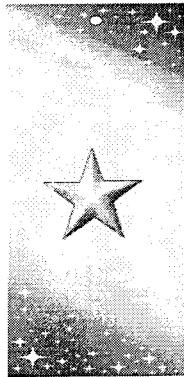
(次世代へのメッセージ)



- ☆ 世代間交流に積極的に参加を促す。
 - * エンゼルエコー（天使のうたごえ）。
 - * 昔の歌、昔あそび、民話、工作品。
 - ことばのキャッチボール（ことばあそび）等。
 - * 伝承の一品を伝える。（食育）
- ☆ 自分を大切に、人を大切にしよう。
 - * 自分の生まれ育った地域を愛し誇りをもつ。
- ☆ 戦争体験から学んだ平和の大切さを伝える。
- ☆ 先人達から受け継いできた文化や知恵と礼節を次の世代に伝える。

会員のつどい・会員作品展

・会員相互の親睦と連携を深め
会員の福利厚生と文化活動の
一環として実施する



- ☆ 永年にわたり精力的に就業した会員の顕彰を行う。
- ＊ 永年就業精励会員顕彰。
- ＊ 15年就業会員顕彰。
- ☆ 会員交歓会を開催し交流を深める。
- ☆ 会員作品展を開催し文化活動の発表の場を提供する。
- ☆ 諸団体との文化交流を図り、文化活動を充実し発展させる。

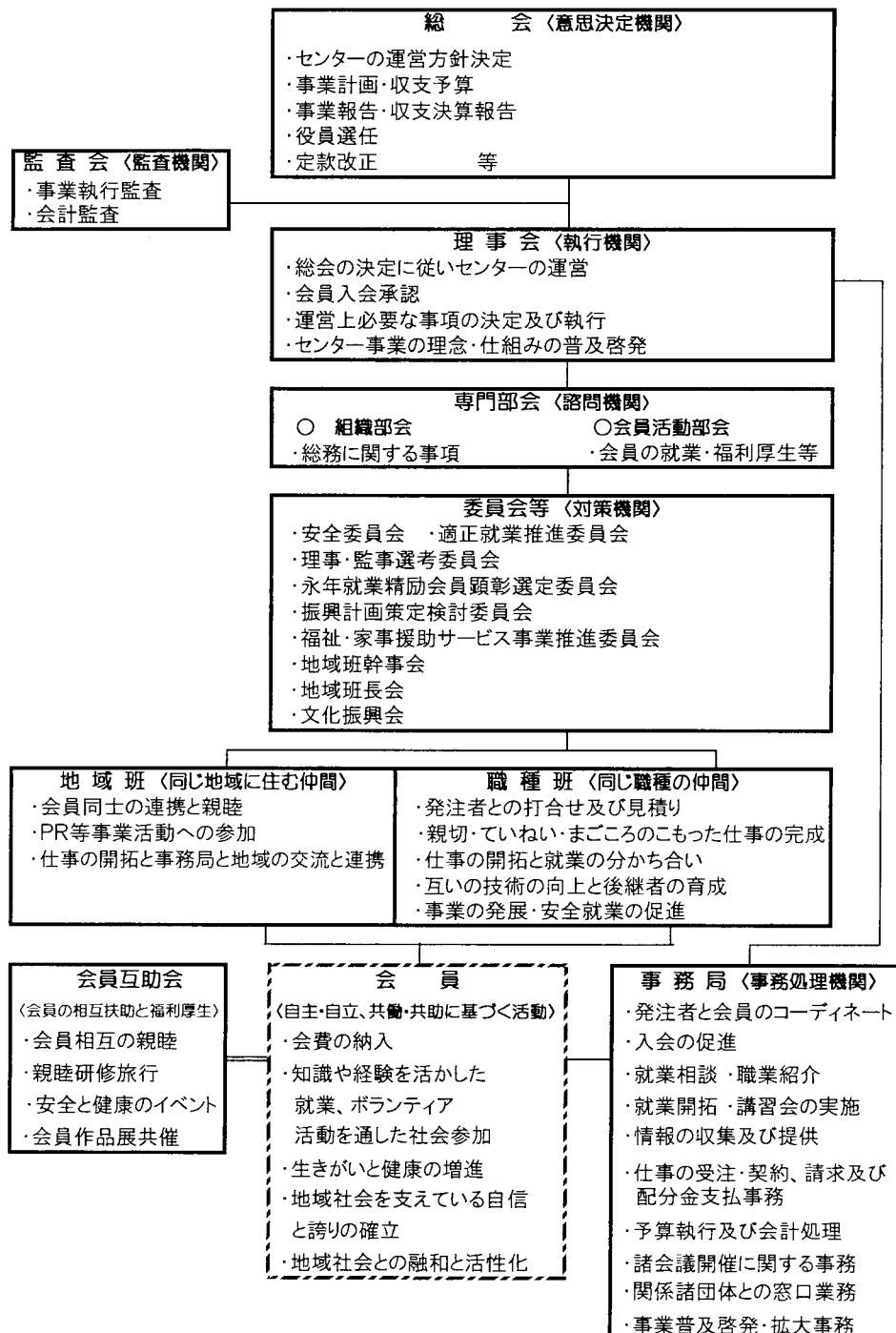
会員互助会

・共助の精神に基づき会員の相互扶助及び福利厚生を図ることを目的とする

- ☆ 各クラブ・同好会の活動を助成する。
- ☆ 働くかたわら潤いや楽しさもあじわう。
- ☆ 各種イベント・研修会を実施する。
- ☆ 負担額・行事の見直しを考える。
- ☆ 会費制の導入を考える。
- ☆ 給付制度の見直しをする。

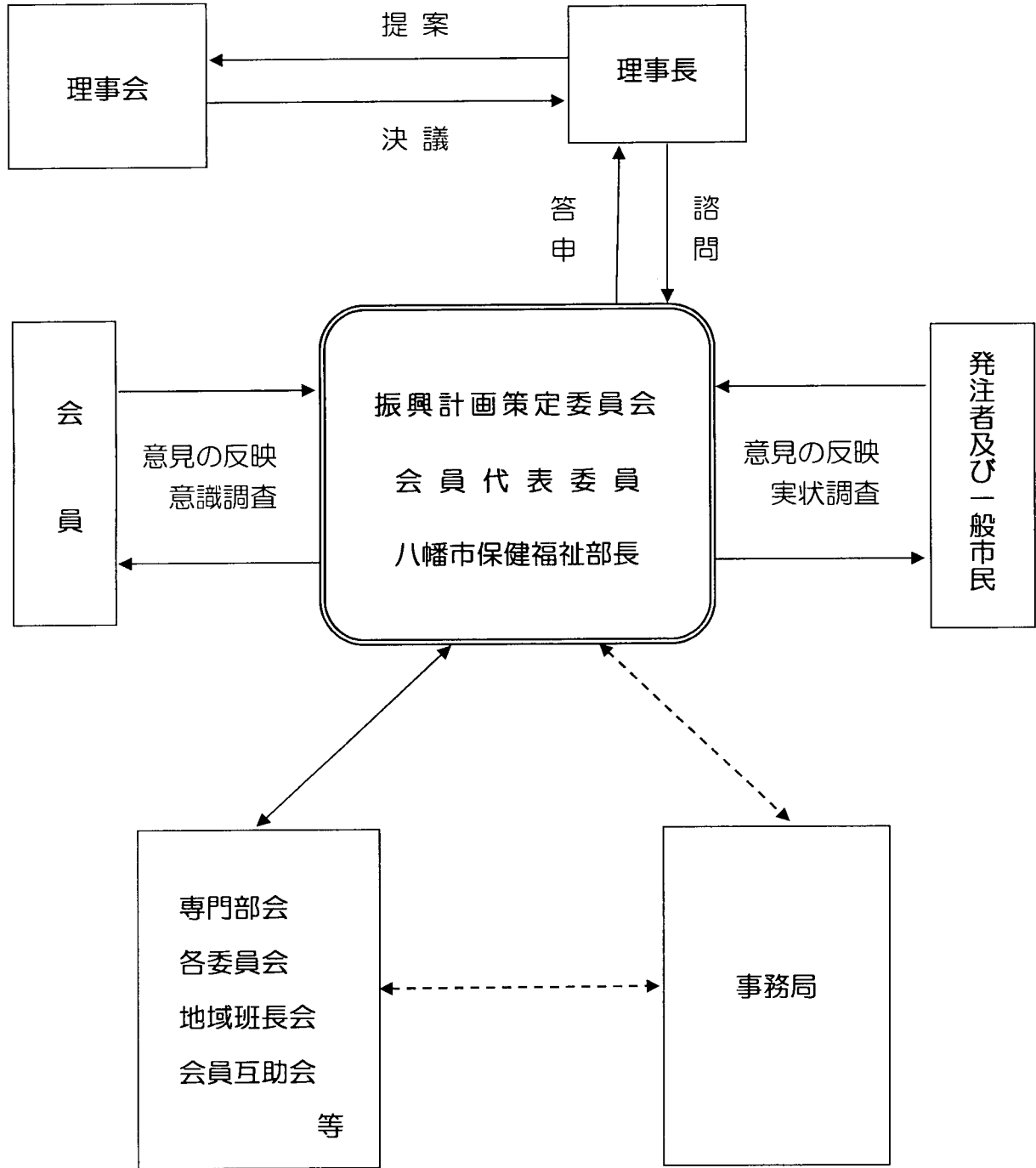
組織の活動はそれぞれの役割を認識し、機能的に活動する

組織と役割



(社)八幡市シルバー人材センター

第2次 中・長期振興計画の策定体制



第2次 中・長期振興計画策定の経緯

H 18. 9. 20	第2次 中・長期振興策定検討委員会の委員募集文書を全会員宛に送付する
H 18. 11. 24	第2次中・長期振興計画策定検討委員会の委員、理事会にて承認
H 19. 1. 1	会報「きらり」92号（新年号）に委員10名決定の記事掲載
H 19. 1. 12 第1回委員会	❖ 委嘱状交付 各委員提言案発表 ❖ 委員長及び副委員長決定 谷垣 隆・内海昭幸 ❖ 計画策定目途 平成19年9月
H 19. 2. 22 第2回委員会	❖ 振興計画策定体制についての方策 ❖ 第1次振興基本計画書（参考） ❖ 振興計画策定の方策 ❖ センター事業についての研修 元事務局長 佐々木義男氏 ❖ 会員及び発注者への調査項目検討
H 19. 3. 22 第3回委員会	❖ センター事業についての研修 元事務局長 森田貞夫氏・佐野吉実氏 ❖ 意識調査（アンケート）の実施及び方法
H 19. 4. 13 第4回委員会	❖ センターの現状及び課題について 事務局職員 ❖ 会員向けアンケートの実施項目と実施時期（5月実施）
H 19. 6. 8 第5回委員会	❖ 会員の意識調査の結果を振興計画へ反映 ❖ 一般向けアンケートについて（7月実施）
H 19. 7. 4 第6回委員会	❖ 振興計画の骨子及び経過報告
H 19. 7. 20 第7回委員会	❖ 振興計画の基本計画詳細検討
H 19. 8. 3 第8回委員会	❖ 振興計画の実施計画詳細検討
H 19. 9. 6 第9回委員会	❖ 振興計画全体のまとめ、理事長答申(案)策定
H 19. 9. 11 第10回委員会	❖ 振興計画(案)理事長答申

第2次中・長期振興計画策定検討委員会委員名簿

区分	氏名	住所	備考
委員長	谷垣隆	八幡市 男山香呂	
副委員長	内海昭幸	八幡市 橋本平野山	
委員	石山洋子	八幡市 八幡福祿谷	
委員	泉谷和一郎	八幡市 西山足立	
委員	井上眞一	八幡市 男山弓岡	
委員	河合愛	八幡市 男山美桜	
委員	佐藤紀美恵	八幡市 八幡御馬所	
委員	柴田まさ	八幡市 八幡旦所	
委員	田中利栄子	八幡市 男山長沢	
委員	祝井善男	八幡市 八幡園内	八幡市保健福祉部長 平成19年7月9日まで
委員	堀口文昭	八幡市 八幡園内	八幡市保健福祉部長 平成19年7月9日から

(敬称略・順不同)

入会してよかったと思えるシルバー

元気で活動するよろこび

